

## 日本脊椎脊髄病学会 平成 27 年度第 4 回国際委員会議事録

日 時 : 平成 28 年 1 月 21 日 (木) 午後 15:00-16:00

場 所 : 神戸ポートピアホテル 南館 552,554

出席: 松山幸弘担当理事、湯川泰紹委員長、岩崎幹季委員、大鳥精司委員、金山雅弘委員、根尾昌志委員、矢吹省司委員、上井浩アドバイザー (日本大学)

欠席: 川原範夫委員、田中雅人委員、富士武史委員

### 1. 中国公式訪問の報告

2016 年 1 月 3 日～1 月 11 日の期間で、湯川泰紹委員長と田中雅人委員が、中国 3 都市(上海、南京、北京)、6 病院を訪問し、5 病院で面談を行った。4 病院で講演会を開催し、アジアトラベリングフェローの概要についての紹介と学術講演を行った。中国の医療水準が急速に伸びていることを確認し、今後フェローの訪問先として重要となることが報告された。

### 2. English oral session の演題選考

40 題 (感染 21 題、外傷 19 題) の演題応募があり、採択基準 (採択率 7 割) に合わせて 27 題を Oral presentation として採用した。このうち 8 題を Award の finalist として選考した。採用に際して、同一著者がほぼ同じ内容の演題を複数題応募されている事例が明らかとなり問題となった。来年度以降は、1 人 1 演題の応募に限定することとなった。

### 3. 2016 アジアトラベリングフェローの選出

アジアトラベリングフェローへの応募者 22 名から、下記の 12 名を選出した (アイウエオ順、敬称略)。

折田純久 (千葉大学)

加藤欽也 (福島県立医科大学)

笹川武史 (富山県立中央病院)

田内亮吏 (名城病院)

武中章太 (国立病院機構大阪医療センター)

飛田哲朗 (名古屋大学)

檜山明彦 (東海大学)

船尾陽生 (川崎市立川崎病院)

宮城正行 (北里大学)

森本忠嗣 (佐賀大学)

山田清貴 (JA 広島総合病院)

大和 雄 (浜松医科大学)

シニアフェローへの応募はなく、引き続き応募を継続していく。

4. 2016 年以降のアジアトラベリングフェローの訪問先

2016 年度の訪問先は、中国・台湾・韓国がそれぞれ 2 施設、香港・ベトナム・シンガポール・インド・マレーシア・インドネシアがそれぞれ 1 施設を選択した。

5. 2016 JSSR の招待医師について

Dr. Kanna RM (Ganga Hospital、インド)

Dr. Brian Freeman (Royal Adelaide Hospital、オーストラリア)

Dr. Yu Bin-Sheng (深圳北京大学、中国)

Dr. Lee Kyu Yeol (Dong-A university, プサン、韓国)

Dr. Young Qiu (南京大学、中国)

6. 2017 JSSR の招待医師

台湾の会長、韓国の会長、Ki-Tack Kim (慶熙大学、韓国) を招待する。現時点では未定だが、さらに 2 名程度医師を招待する予定である。

7. 台湾のトラベリングフェロー受け入れ(第 2 回)について

2015 年度は浜松・名古屋と岡山で台湾トラベリングフェローを受け入れた。2016 年度の受け入れ先については次回以降の委員会で委員の所属施設を中心に決めていくこととなった。

8. 次回委員会の日程

日本脊椎脊髄病学会学術集会開催期間中の 2016 年 4 月 14 日朝 7 : 00-8 : 00 開催予定。それまでに必要があればメール審議を行う。